

## 次々回予定作：天獄カジノ

### 全体コンセプト：

天獄の廻段 上に行くほど下にいき下にいくほど上にいくそんな内容です。

### メアちゃん：カジノのパニー

元々孤児であったところえらーい人に保護されてカジノで働くことになる。人懐っこい性格大人の世界にいるわりには純粹無垢。聞き上手さん。キャバ嬢だったら自然とトップクラスにいると思う。学校に通ってないので分からないことはベルさんを中心に色んな人より教わってる。そんな特殊な環境下で育っているために随所に偏りが見られる。例えば客とは満たして搾り取る存在だと認識している。そして中には搾り取られることが満足する存在がいることを知り、そういう人のことを被虐体質、マゾと呼ぶことベルさんから教わったそう。そしてそういう人たちをお店に連れていくといたく喜ばれるのでそういう人を探すのが得意になったとき。めでたしめでたし。好きな食べ物は甘いの！！！！分かりやすい！！！！

### ベルさん：凄腕ディーラー

話術にカードコントロール、イカサマ、ハニートラップ...etc. ...ディーラーに関係することしないことなんでもトップレベル。その上カジノ内の他従業員に対しては優しくて周りの気配りもできちゃうとにかく隙がない人。しかしたとえ人間はできてもその本性は真性のディーラーです。場を掌握して支配しその沼にまんまとハマりぬかるみの中で自我が崩壊していく人たちを見ながら愉悅に浸ることに快感に感じています。好きな食べ物はさきいか。人間と同じく噛めば噛むほど味が出るそんなものが好きなのでしょう。

### ep0 福音 heaven's sound

メア⇒ねえねえ♥おにーさん♥

ねえー♥そこのお兄さんのことだよー♥

<振り向く>

メア⇒ねえ？ テンゴクって信じる？

<一瞬の静寂が流れる>

たはー♥めっちゃ呆れられたー♥だよねー♥

<主人公通り過ぎる>

メア⇒あー行っちゃだめー♥おにーさん♥

メア話終わってないのにー！

<メアちゃん先回り>

とーまーれ♥

メアの話ちゃんと聞いてよー♥

君、冒険者でしょ？

でしょ？でしょでしょ♪

メア見る目あるからー♥

じゃあこの町...マガラに来たってことはあれ目当てじゃないの？

カジノ♥

お金と欲望の楽園...エデنزスクエア♪

お兄さんもう行った？

へーまだなんだー♥

なにー？怖いのー？

カジノー♥

冒険者なのになー？w

あはっwうそうそ♥

そうそう♥

メアそこのバニーさん♥

よろしくねー♥

<名刺に口づけをするとそれを渡す>

ちゅっ♥

これ名刺♥

でねー♥なんであそこが楽園って呼ばれてるか知ってるー？

あはーw知らないのー？w

オトナなのになー？

もしかしてー♥メアのほうが賢かったりしちゃう感じー？

せーかいはー♥誰もが幸福になれるとこだから楽園って呼んでるんだってー♥

ベルっちが言ってたー♥

そんなの分かるわけないじゃんって顔してんねー♥

わかり易すぎw♥

でもでもでもー♥メアそんなクイズするために話しかけたわけじゃないんだよ？

メアっちカジノにその上...選ばれた人しか行けない場所があるって知ってる？

メアたちはそこを”テンゴク”って呼んでる♥

ごくわずかな限られた人しか入れない会員制のカジノ

お金はもちろん、チップで引き換えられるアイテムはレアリティ計測不可の一品物ばかり♥

そうそうバニーはもちろんディーラーはみんな女の子♥ちょーかわいい子しかいないくてー♥

お触り♥

生脱ぎ♥

ぱふぱふ♥

パコパコ♥

以下もろもろドスケベ破廉恥風紀良俗を乱すこと♥

ぜーんぶおっけー♥

チップしただけどね♥

奴隷にしてお持ち帰りする人もいるよ♥

この世の欲望が全部叶う♥そんな場所♥

だからテンゴクっていうんだけど...

お兄さん♥

そこに行ってみない？

んふー♥

なんか言いたそうご様子だね♥じゃあ質問どーぞ♥

<主人公、矢継ぎ早に問いを投げる>

んにゃー！

一気に言わないでー♥

頭パンクしちゃう♥

慌てないー♥

焦っちゃダメ♥

一つ一つ答えてあげるね♥

ひとつ♪テンゴクへの入国条件ねー♪

これを得るため方法は二つ♪

一つは偉くなってコネを得ること♥

もう一つはメアみたいな特別なバニーの推薦♥

つまり今のお兄さんはメアの力で入国できるってわけ♥

次ー♪二つ目の質問♪

お金についてー♪

ゲームによるけど基本的にレートは君とディーラーとの合意で決まるから高かったから遠慮なく言ってね♥

元手は君の冒険者の能力を見るにその辺の冒険者よりありそうだしそれで十分♥

あとついでに言うとテンゴク内では推薦したバニーの付き添いが許可されてるよ♪

だってさーたとえば君♪

ルーレット

ポーカー

ブラックジャック

バカラ

クラップス

キノ

ホイールオブフォーチュン

これら全部のルール分かる？

それにカジノにはローカルルールだってあるんだよ♥

そんなとこにメアが放り投げて「はい♪サヨナラ♪」は無責任だよな？

このルールはそのためのもの♪

もちろん君が拒否すれば別だけど♥

君が望めば戦略戦術的な助言も許されてるよ♥

もちろんイカサマはメッ♪だけどね♥

三つ目...♪

これが一番知りたいことだよな♥

なんでメアがお兄さん選んだのか♥それはね...♥

うーんと...

わかんない♪

えへーw

えーと...なんだろうね？

腫瘍と...救急？だっけ？＜需要と供給の言い間違い＞

テンゴクが求める人と君の欲しいものが多分一致してる気がするから♥

それに...♥

くすっwなんていうかなー♥

これはメアの直感なんだけど...

巡り合わせ

って言うのかな？

お兄さんがメアに会うために、運を巡らす努力を怠らなかったからかな？♥

ってメア思うんだー♪

メアの目に入るようにー♥

丁度いいところに丁度いい時間に丁度いい恰好をしてくれて♥

メアが選ばれるように君が選んできたから♥

今こーして君はメアの話聴けてる♪

ついてるね♥おにーさん♥

こんなチャンス二度とないけど？

乗る？乗らない？

今お兄さんの目の前には運命の女神様のスカートがひらひら挑発してる♥

掴むも掴まないも自由♥

じゃあお兄さんはどうする？♥

えへーっ♥

迷ってる？

そっかー♥

じゃあさー運できめれば？

コインある？

一枚メアに貸して♥

こっちが表でこっちが裏だよね？

ほいっと♥

＜コインを渡すと徐にそれを指ではじく。コインは目線の高さまで宙に舞ったのち重力に従い落下する。メアはそれを右手の甲で受け止め瞬時に左手で蓋をする。＞

さーて♪

裏と表どっちだ♥

表とー

うーら♥

どっちー？♥

わかんないねー♥

ちょっとイメージしてみようっかー♥

表はどっちかというとなんか正義っぽくない？

正々堂々、清く正しく、誇り高い...多かれ少なかれなんかそんな感じしない？

じゃあ裏はー？♥

裏はどうなんだろうーねー？♥

おにーさん♥

裏で好きなものある？

一つ、メアがおにーさんの好きなモノ当ててあげようっか？

足の裏♥

あはー♥

やっぱり反応しちゃったね♥

今のゲームに全く関係ない言葉のはずなのに♥

なんでだろうね？

今のでメアさらにわかっちゃった♥

もう一つ裏で好きなもの当ててあげよっか♥

太もものー♥

うーら♥

女の子の後ろ姿から見る太もも♥

お兄さん好きだよ♥

否定したかったら否定していいよ♥

どうせゲームには無関係だし♥

ふーんそーなんだ♥

じゃあこれも好きかなー？

裏地♥

ブラジャーの裏地♥

おぱんつの裏地♥

メアが着ているバニースーツの裏地♥

女の子の肌やおっぱい♥

口でいえないエッチな部分♥蜜壺が直接長時間触れてる裏地♥

そーなんだー♥

じゃあー♥メアの身に着けてるものの匂いを嗅いで♥

お口で頬張りしゃぶりたい♥

女の子のきれいで柔らかい体に触れてたものをしゃぶり尽くして全身で女の子を感じたい♥

そんなこと考えてないよねー？♥

えー♥そんな目でメアを見てたんだー♥

おにーさんかっこわるー♥

いけないんだー♥

そんな子にはおしおきしなきゃイケナイよねー♥

どこにおしおきしよっかなー♥

おにーさんの弱点はどこかなー♥

<メア、手の甲を隠しながら右手で下半身を舐めまわすように愛撫する>

ここだよねー♥

ちんぽ♥

それも♥

うーらーすーじー♥

ここ、メアの指にすーって擦られちゃうと

声♥出ちゃうね♥

おっきくなっちゃうね♥

言っとくけどテングクはこんなもんじゃないよ♥

いっぱいサービスしちゃう♥

文字通り二度と地上に戻れないくらい気持ちよくして♥

あ♥げ♥る♥

さあこんなもんかな♥

決めた？

なになって、自分が何してたのか忘れちゃってたのー？♥

表と裏♥

早く決めてー♥

もう決まってるよね♥

メア、よーく知ってるよ♥

君のこと♥

だからここでこうしてメアの話聞いてる♥

運が巡り合わせてる♥

答え聴かせて♥

どーぞ♥

うん♥裏だよね♥

じゃあ答え合わせ♥

せーかいはー♥

うーら♥

おにーさんすっごーい♥やっぱついてる♥

テンゴクに行くべき選ばれた人♥

おにーさんもそー思わない？

じゃあもちろん行くよねー？

テ♥ン♥ゴ♥ク♥

うん♥よしよし♥いいこ♥いいこ♥

はーい♥それじゃテンゴクへー名様ごあんなーい♥

## ep1 予兆 -heaven's stair-

テーブルに入る前からスタート

メ⇒はやーくきてー♥

こっちこっちー♥

<促されるままテーブルへ向かう。>

ベルっちー♪

ベ⇒ようこそ♪メアちゃん♪いつも元気ねー♪

メ⇒へへー♪ベルっちも素敵ー♪



ベ⇒お世辞でも嬉しいわ♪

お菓子いる？

メ⇒いるー♥

ベ⇒はいどーぞ♥

メ⇒ありがとー♥いつもお菓子くれるベルっち大好きー♥

ベ⇒あたしもメアちゃんのこと好きよー♥

いつもいいもの持ってきてくれるから♥

メ⇒ほえ？

ベ⇒そちらは？

メ⇒あー♪そうだった♪

紹介するね♥

このおにーさんが今日のお客さん♥

おにーさん♥この人はディーラーのベルさん♪

きれいでしょー？

かわいでしょー？

かっこいでしょー♥

もちろんディーラーの腕もすごすごだよー♥

ベ⇒ベルよ

今夜はよろしく♪

貴方のお相手引き受けさせてもらうわ

お互い楽しいゲームにしましょ♪

カジノは初めて？♥

そう♥

かわいいわね♥

大丈夫♥取って食べたりしないわよ♥

肩の力抜いて♥

抜かないなら...食べちゃうわよ♥

メアちゃん♪

貴方のせいよ♥

メ⇒ふえ？

ベ⇒貴方が私を褒めはやすから、身構えられちゃったわ♥

メ⇒えーそんなー

ベ⇒くすっ♪

最初に断っておくけどディーラーの腕というのは貴方を負かす能力のことじゃないわ♥

それはお客を楽しませる能力のことを指すの♥

覚えておくといいわ♥

スリルを求めてるお客にはスリルを♥

夢を求めてるお客には夢を♥

天国を求めるお客には天国を♥

求められてるものを提供するのがわたしの仕事♥

その代価がお金♥

貴方は何をお望みかしら？

いっぱいおねだりして頂戴ね♥

ぜーんぶ叶えてあげるわよ♥

ふふ♥

なーんてね♥

メアちゃん♥

彼すごくいいわー♥最高よお♥

絶対いい勝負できる♥

メ⇒でしょでしょ？

じゃさっそくやろーやろー♥

1対1でルールが分かりやすいゲームといえば...

ブラックジャック♥だよな？ベルっち♪

ベ⇒そのとおり♥

私準備してるからその間にルール説明お願いね♪

<ベル、カードを手際よくシャッフルし始める。>

メ⇒はい♪

おにーさんブラックジャックのルール知ってるー？

そうそうトランプの数字を21に近づけるゲーム♥

より21に近いものが勝者♪

でも21をオーバーしたらその時点で敗者♥

カードの数字は2から10までは数字通りの数として数えて、絵札は全部10として数える♪

そしてエースは手札の合計が21以下の場合は11、それをオーバーすると1として扱うってわけ♥

ゲームの流れは最初に君が掛け金...ベットを設定♥

そしたらベルっちと君それぞれに二枚ずつカードが配られる

君は全てのカードを表にしてベルはそのうち一枚を表にするの♥

これをフェイスアップカードって呼ぶんだよ♪

そのカードを駆け引きの参考にしてね♥

カードを配られた君はここで五つの行動を取ることができるよ♥

1つ♪ヒット♪

一枚カードをもらって21に近づけること♥

2つ♪ホールド♪

これは現状維持♪

もうカードは要りませんってこと♥

3つめダブルダウン♪

掛け金を倍にする戦略。でもその代わりヒットを一回しかできなくなっちゃうハイリスクハイリターンな行動♥

4つ♪スプリット

配られたカードが同じ数字だった場合に分割して別々の手札としてベルっちの手札と戦わせることができるの♥

掛け金は同額で絵札は全部10として扱うから違う絵札でもスプリットできるよ♥

最期はサレンダー 勝ち目がないからこのゲームから降りるって意味だよ♪

そうすると掛け金の半分が戻ってくるってわけ♪

行動を選択し終えたらベルっちのターン♥

ベルっちは17未満の場合は必ずヒットしないといけないの♥

そーしてヒットし続けて最終的な数字が21に近い方が勝者

21以外の数字で勝利すれば君は掛け金の倍のベットが返ってくる♪

21で勝利すればその1.5倍つまり3倍のベットが返ってくる♥

さらにその21がスペードのジャックとエースでできてた場合さらにその2倍つまり6倍のベットが返ってくる♥

引き分けだった場合は掛け金そのまま返ってくるって感じ♥

ま一分からなくても都度メアが助けてあげるから気にしないでいいよー♥

楽しんでくれるのが一番だからねー♥

ベル準備できたー？

ベ⇒ええ♥説明ありがと♥慣れたものね♥

じゃあベットを決めましょう？

最大ベットは無制限でいいわよね？

問題はミニマム...最小掛け金だけどここでは1万ギルが普通なんだけどそれでいいかしら？

メ⇒えー♥足りなくなーい♥？

もっとおっきいこーよ

10万ギルでいこーよー♥

ベ⇒メアちゃん♪

ダメよ♥決めるのは彼♥貴方じゃないわ♪

メ⇒知ってるー♥

メア提案しただけー♥でもさー♥君♥

欲しいのいっぱいあるよねー♥

景品もそうだけどー♥

メアとベルっちに色々してもらいたいよねー？

ベ⇒あら？私もー？

こわいわー♥一体なにされちゃうのかしらー♥

普通のカジノだと出禁ものだけどここは違うわ♥

でもその代わりそのためのチップ設定がなされてるの♥

私達を好きにしたいなら確かに一人1分につき10万ギルからね♥

なにしてもいいけど♥

楽しませてくれると嬉しいわ♥

メ⇒ね♥10万ギルにしよ♥？

ベ⇒そうね♥

早く私達を好きにしたいならそれがいいわね♪貴方さえよければ私は大歓迎よ♥

メ⇒断る断らないは自由だよ♥

ベ⇒自由だけどその選択は貴方の見方に影響するわ♥

断ったらきっとメアちゃんは思うんじゃないかしら？

ケツの穴の小さい骨なしチキン野郎♥って

メ⇒ベルっちはこう思うんじゃないかな？

ちんこは飾りか？女々しい粗チン野郎♥

って

ベ⇒私はなんとも思わないわ♥

メ⇒メアはなんとも思わないよ♥

ベ⇒さあ♥

メ⇒どっち♥

↑↓同時

ベ⇒どっち♥

メ⇒ベルー♪

10万ギルからだってー♪

おにーさんりっぱー♥すごーい♥

ベ⇒できる男は違うわね♥

サービスしてあげるから♥

楽しんでね♥

メ⇒それじゃ始めよー♥

たのしい♥

ベ⇒たのしい♥

メ⇒ブラックジャック♥

↑↓同時

ベ⇒ブラックジャック♥

<一旦ここまで>

次々回作に予定してるのはマゾさんのシチュエーションでは定番？のカジノ、ギャンブルものです。これは前々より書きたかったのですが、自分の中で課したハードルがちょっと高く、よいプロットが組みあがらずあえて手を出さなかったジャンルでもあります。ハードルが高くなってしまった要因としては、僕自身マゾのシチュエーションとしてギャンブルものが好きであると同時に一般的なギャンブル作品も

好きであり、特に一般のそれらの作品群へのリスペクトの気持ちが強いからです。

世間にギャンブルものは数あれど、とりわけ僕は福本伸行先生の銀と金、迫稔雄先生の嘘喰い、沖方丁先生のマルドゥック・スクランブルが大好きです。これらはこれまで何度も読み返しており、創作の参考にとどまらず、生き方や考え方も学ばせてもらっているといっても差し支えありません。ということで僕がギャンブルものを書くという行為は今挙げた作品を含めた己が今まで吸収してきたギャンブル作品たちに対する感謝と尊敬の試金行為に等しく、つまりは学び楽しませてもらったことへの感謝と尊敬を詰め込めるかという作業に他ならないのであります。

実際に先ほど挙げた三作品のいずれかを読んだことのある方は、これらの傑出度をご存じかと思いますのでこれがいかに為しがたいことか想像に難くないと思います。よいものを頂いたからにはよいもので返したいのです。

本来僕にとって自作の引き合いとしてこのような素晴らしい作品の名前を挙げることさえ畏れ多く、これを読んでくださる人の中でも性的欲求を満たすための作品で挙げるべき作品群でないために、一種の身分不相応さに呆れる方もいらっしゃると思います。

実際、その本来音声作品に不要な意識のせいでep0からep1までほぼエロシーンなしという暴挙に出てるのは本末転倒に思われるかもしれません。しかもep1に関してはほぼ基本的なブラックジャックのルール説明に終始するという始末。僕もカットできるならカットしたいと思ったのですが、ブラックジャックで話を展開する以上、前提条件が一致しないとそれこそ作品の没入感の障害を招くのと、物語上ルールに布石を打ちこんでおきたかったので入れざるを得なかった次第であります。ここに関しては別途要約したスライド資料などを作成して聴かなくてもいいようにしようとは思っています。

僕がなぜこのような非常識な構成であることを承知でこの作品を出すかと言えば、それはまさに賭けであり、そもそもなぜ人が賭けるかと言えばそのリスクに見合うだけのリターンが望めるから。それだけです。皆様にはご不便をおかけするところもありますが、これは単なるその場の勢いや奇を衒った行為ではないことだけはお承知おきいただけると幸いです。

そしてこの先、これ以降は僕が考えた数多のプロットの中で唯一音声作品として最後まで成立させられたマゾ向けギャンブル作品であり、先ほど挙げた畏怖すべき作品を含めた僕が今まで見たギャンブル作品への感謝の試金石です。

運や巡り合わせというやつは時に直面した際はランダムつまり偶然のように見え、また後悔した時は「あの時ああしてれば…」などとその事象に対する行動について、可能性を鑑みてあたかも「たれば」の余地があるもののように考えてしまいがちです。ですがその実、偶然とそれに対する行動というのは、過去の積み重ねによって既に逃れられない必然へと転化してしまっており、選択肢がいくつあろうが無関係、特定の事象に出くわすこと、特定の行動を取ることを自ずと定められてしまっている場合が往々にして存在すると僕は考えます。つまり時に「たれば」なんて元より存在し得ず、その時取った行動がその時の貴方の必然であることに出口をわすということが、と。僕はそう考えてます。この作品はそういう作品です。

貴方がマゾという過去を積み重ね、拗らせた結果、偶然から必然の道を選ばされる、いうならば運命の女神様によってじっくり仕組まれてきたによる悪戯のような作品となっております。どうぞその必然の破滅を味わってください。

追記：最後の「たれば」の話で誤解を招くかもしれませんが、僕は決定論者ではありません。なぜなら少なくとも同じ人が「たれば」でものを考えず、その時取った行動が必然であるという自覚を以て行動し続ければそれは「たれば」で思考に囚われていた時と異なる道、結果を生むと思っているからです。